

平成24年行政事業レビューシート

(内閣府)

事業名		食品安全行政の充実・強化経費		担当部局	食品安全委員会事務局			作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度		平成15年度		担当課室	勧告広報課、情報・緊急時対応課			新本 英二 情報・緊急時対応課長	
会計区分		一般会計		施策名	70 食品安全の確保に必要な総合的施策の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)		食品安全基本法(平成15年法律第48号)第17条		関係する計画、通知等	食品安全委員会運営計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		食品の安全性の確保のために必要な措置の適切かつ有効な実施を図るため、国の内外における食品の安全性の確保に関する情報の収集、整理及び活用その他の必要な措置を講ずる。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)		<p>国外のリスク評価に関する最新の知見や動向等を食品安全委員会の活動に反映あるいは食品安全委員会の活動の成果を国外のリスク評価に反映するため、外国人有識者(研究者等)との意見交換、国際会議への派遣を実施。食品安全モニター※を通じた情報・意見の収集等を実施。</p> <p>※食品安全モニター:食品に関する一定の経験・知識を有する全国の消費者470名に食の安全に関する意見・情報をいただくため、食品安全委員会が依頼</p>							
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)				21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		予算 の 状 況	当初予算	197	118	53	41	46	
			補正予算						
			繰越し等						
		計	197	118	53	41			
		執行額	105	58	43				
執行率(%)	53%	50%	81%						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)		成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
		食品安全委員会のホームページアクセス件数		成果実績	件	1,903,789	11,736,157	13,508,595	
				達成度	%	—	—	—	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)		活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
		食品安全関係情報(隔週報)の発行		活動実績 (当初見込み)	号	25 (25)	22 (22)	22 (18)	(24)
単位当たり コスト		(円/月)		算出根拠					
平成24・25年度予算内訳	費目		24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	委員手当		0.2	0.2	・執行実績を踏まえた単価の見直しを行ったことによる減額(諸謝金、庁費) ・事務局職員レベルで実施していた連携機関(欧州食品安全機関(EFSA)及びオーストラリア・ニュージーランド食品基準機関(FSANZ))との定期協議を専門家(食品安全委員会の委員及び専門委員)をメンバーとする会合とするための増。(委員等旅費、職員旅費)				
	諸謝金		3.9	3.0					
	職員旅費		9.4	12.1					
	委員等旅費		7.9	14.4					
	外国人招へい旅費		2.7	2.7					
	庁費		16.5	13.7					
	計		41	46					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	国民の健康の保護が最も重要であることを基本理念として定められた食品安全基本法に基づき、食品安全委員会が、緊急事態への対処等に関する体制の整備等、国内外の情報の収集、整理及び活用等を行うために必要な事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	外国人有識者の招へいや国際会議への委員出席等への支出については、航空運賃を3社以上からの見積もりを取るなどにより、経費の節減に努めている。また、リスク評価等に的確に反映する観点から、計画的かつ厳選した会議や意見交換会に出席している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	外国人研究者の招へいや国際会議への出席による情報収集及び意見交換により実効性の高い最新の科学的知見の収集を行っている。また、収集した国内外の食品安全に関する情報については、隔週で当該情報を取りまとめ、隔週報として発刊しており、主な食品安全に係る情報については、食品安全委員会で報告し、広く国民に対する情報提供を行っている。また、本事業においては、当委員会の役割であるリスク評価に係る事業に限定して実施している。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	24年度においては、23年度のコスト削減実施状況等を見込み、予算額の削減を行っている。また、外国人有識者の招へいや国際会議への委員出席等への支出については、航空運賃を3社以上からの見積もりを取るなどにより、経費の節減に努めている。外国人有識者や国際会議への委員出席等への支出については、引き続き適正な執行に努め、更なる効率化を図って参りたい。		
	意見交換、国際会議派遣の計画については、食品安全委員会運営計画に記載しているところであり、その実施状況について、年度途中、年度終了後、フォローアップを実施し、運営状況報告書に記載しているところである。 (食品安全委員会運営計画、運営状況報告書等： http://www.fsc.go.jp/iinkai/index2.html)		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、契約における競争性の確保などにより、予算の効率的執行に留意すべき。		
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)		
執行等改善	平成24年度においては、国際会議等への委員出席等への支出について、航空運賃を3社以上からの見積もりを取るなどにより、経費の節減を図り、予算の効率的執行を行っている。なお、所見の趣旨を踏まえ、平成25年度概算要求においては、予算執行の効率化や執行実績を踏まえた件数等の見直しによる減額を行った上で、連携機関との定期協議に必要な経費を計上している。		
	補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）		
平成22年度行政事業レビュー(予算監視・効率化チームの所見) 22年度予算額が19,20年度の執行実績を上回っていることから、予算執行状況を踏まえ、予算額の削減を含む見直しを図るべき。また、外国旅費等に係る経費については、出張時の割引航空運賃の活用や事務費の節減等、更なる効率化に努めること。 →予算額については、予算執行実績を勘案して見直しを行っている。 また、外国旅費等について、出張時の割引航空運賃の活用により予算の効率的執行を行っている。			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	141	平成23年行政事業レビュー	144

内閣府食品安全委員会
41百万円

- ・招聘する外国人の選定、意見交換会の開催
- ・外国出張計画の立案、事務手続き
- ・食品安全モニターの任命、食品安全モニター会議の開催

委員手当・諸謝金・旅費・庁費
41百万円

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単
位:百万円)